

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	49,130	32,418
コールローン	30,000	30,000
有価証券	144,241	162,482
有形固定資産	1,353	1,142
無形固定資産	17,578	21,776
その他資産	21,856	17,807
繰延税金資産	15,606	16,202
資産の部合計	279,766	281,829
負債の部		
保険契約準備金	216,784	229,215
支払備金	44,812	47,976
責任準備金	171,972	181,238
その他負債	17,282	9,631
退職給付引当金	2,364	2,428
賞与引当金	1,263	572
役員賞与引当金	3	7
特別法上の準備金	327	351
価格変動準備金	327	351
負債の部合計	238,026	242,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	3,389	3,389
利益剰余金	18,069	16,482
株主資本合計	41,458	39,871
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	282	△ 248
評価・換算差額等合計	282	△ 248
純資産の部合計	41,740	39,622
負債及び純資産の部合計	279,766	281,829

四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間	
	(自	2021年4月1日	(自	2022年4月1日
	至	2021年12月31日)	至	2022年12月31日)
経常収益		105,228		109,026
保険引受収益		104,258		108,040
(うち正味収入保険料)		104,200		107,973
(うち積立保険料等運用益)		57		66
資産運用収益		906		951
(うち利息及び配当金収入)		964		1,018
(うち積立保険料等運用益振替)	△	57	△	66
その他経常収益		62		34
経常費用		97,038		102,254
保険引受費用		72,157		76,745
(うち正味支払保険金)		45,191		55,150
(うち損害調査費)		7,690		7,570
(うち諸手数料及び集金費)		1,562		1,593
(うち支払備金繰入額)		3,898		3,164
(うち責任準備金繰入額)		13,813		9,266
営業費及び一般管理費		24,876		25,504
その他経常費用		4		5
経常利益		8,190		6,772
特別利益		-		-
特別損失		35		31
固定資産処分損		14		7
特別法上の準備金繰入額		21		24
価格変動準備金繰入額		21		24
税引前四半期純利益		8,154		6,740
法人税及び住民税		3,403		2,299
法人税等調整額	△	1,099	△	389
法人税等合計		2,303		1,909
四半期純利益		5,850		4,831

損益状況の対前期比較

(単位：百万円)

期 別	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	比較増減	増減率
元受正味保険料(含む収入積立保険料)	105,575	110,079	4,503	4.3 %
(元受正味保険料)	(105,575)	(110,079)	(4,503)	(4.3)
経 保 險 引 受 収 益	104,258	108,040	3,781	3.6
(うち正味収入保険料)	(104,200)	(107,973)	(3,772)	(3.6)
保 險 引 受 費 用	72,157	76,745	4,587	6.4
(うち正味支払保険金)	(45,191)	(55,150)	(9,958)	(22.0)
(うち損害調査費)	(7,690)	(7,570)	(△ 120)	(△ 1.6)
(うち諸手数料及び集金費)	(1,562)	(1,593)	(31)	(2.0)
資 産 運 用 収 益	906	951	44	4.9
(うち利息及び配当金収入)	(964)	(1,018)	(53)	(5.6)
資 産 運 用 費 用	-	-	-	-
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	24,876	25,504	627	2.5
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(24,810)	(25,438)	(628)	(2.5)
そ の 他 経 常 損 益	58	29	△ 28	△ 49.0
経 常 利 益	8,190	6,772	△ 1,417	△ 17.3
(保 險 引 受 利 益)	(7,290)	(5,855)	(△ 1,434)	(△ 19.7)
特 別 利 益	-	-	-	-
特 別 損 失	35	31	△ 4	△ 11.3
特 別 損 益	△ 35	△ 31	4	-
税 引 前 四 半 期 純 利 益	8,154	6,740	△ 1,413	△ 17.3
法 人 税 及 び 住 民 税	3,403	2,299	△ 1,103	△ 32.4
法 人 税 等 調 整 額	△ 1,099	△ 389	709	-
法 人 税 等 合 計	2,303	1,909	△ 394	△ 17.1
四 半 期 純 利 益	5,850	4,831	△ 1,019	△ 17.4
諸 比 率	50.8%	58.1%	/	/
正 味 損 害 率	25.3%	25.0%	/	/
正 味 事 業 費 率	59.3%	64.9%	/	/
修 正 経 常 利 益	12,878	8,998	△ 3,879	△ 30.1
E. I. 損 害 率	59.3%	64.9%	/	/

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。

2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料 × 100

3. 正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料 × 100

4. 修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額※

※異常危険準備金戻入の場合は、「異常危険準備金繰入額」はマイナスとなります。

5. E. I. 損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料 × 100

なお、地震保険および自動車損害賠償責任保険を除いております。

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		5,740	5.4%	67.0%	6,690	6.1%	16.5%
海 上		—	—	—	—	—	—
傷 害		6,889	6.5%	2.4%	7,093	6.4%	3.0%
自 動 車		92,946	88.0%	7.1%	96,296	87.5%	3.6%
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—	—
合 計		105,575	100.0%	8.9%	110,079	100.0%	4.3%

正味収入保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		3,335	3.2%	66.1%	3,758	3.5%	12.7%
海 上		—	—	△ 100.0%	0	0.0%	—
傷 害		7,104	6.8%	2.4%	7,205	6.7%	1.4%
自 動 車		92,707	89.0%	7.2%	96,007	88.9%	3.6%
自動車損害賠償責任		1,053	1.0%	△ 6.9%	1,001	0.9%	△ 4.9%
合 計		104,200	100.0%	7.9%	107,973	100.0%	3.6%

正味支払保険金

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		
		金 額	増減率	正 味 損害率	金 額	増減率	正 味 損害率
火 災		412	184.6%	17.5%	981	138.1%	31.9%
海 上		0	△ 99.9%	—	△ 3	—	—
傷 害		2,463	6.8%	38.6%	3,564	44.6%	54.1%
自 動 車		41,320	9.9%	52.4%	49,615	20.1%	59.0%
自動車損害賠償責任		995	△ 0.6%	94.5%	992	△ 0.3%	99.1%
合 計		45,191	10.1%	50.8%	55,150	22.0%	58.1%

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	76,402	84,671
資本金又は基金等	35,040	39,871
価格変動準備金	327	351
危険準備金	148	155
異常危険準備金	38,076	40,302
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	352	△ 345
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	2,457	4,335
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2+R_5+R_6}$	18,787	19,710
一般保険リスク (R ₁)	15,739	16,414
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	0	0
予定利率リスク (R ₃)	151	158
資産運用リスク (R ₄)	1,958	2,189
経営管理リスク (R ₅)	407	429
巨大災害リスク (R ₆)	2,500	2,700
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	813.3 %	859.1 %

注. 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条(単体ソルベンシー・マージン)および第87条(単体リスク)ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

なお、当第3四半期会計期間(2022年12月31日)の単体ソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を当中間会計期間(2022年9月30日)と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。

・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。

・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。

- ①保険引受上の危険 (一般保険リスク) (第三分野保険の保険リスク) : 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
- ②予定利率上の危険 (予定利率リスク) : 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
- ③資産運用上の危険 (資産運用リスク) : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
- ④経営管理上の危険 (経営管理リスク) : 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
- ⑤巨大災害に係る危険 (巨大災害リスク) : 通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険

・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(単体ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。

・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。